



## 2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月19日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エンプラス

コード番号 6961 URL <https://www.enplas.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 星野 清孝 TEL 03-6268-0259  
グループフィナンシャルオフィス 本部長

四半期報告書提出予定日 2018年11月8日 配当支払開始予定日 2018年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期第2四半期の連結業績 (2018年4月1日～2018年9月30日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	16,207	△5.5	1,345	△48.9	1,699	△33.2	1,029	△44.9
2018年3月期第2四半期	17,143	7.8	2,636	26.5	2,543	33.5	1,868	△46.9

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 1,755百万円 (△20.0%) 2018年3月期第2四半期 2,195百万円 (34.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	80.49	—
2018年3月期第2四半期	145.98	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	58,335	53,484	91.1	4,153.99
2018年3月期	57,118	52,258	91.0	4,062.72

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 53,150百万円 2018年3月期 51,983百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2019年3月期	—	40.00	—	—	—
2019年3月期 (予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2019年3月期の連結業績予想 (2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	2.1	3,300	△24.5	3,300	△14.2	2,300	△9.3	179.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	18,232,897株	2018年3月期	18,232,897株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	5,437,795株	2018年3月期	5,437,665株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	12,795,183株	2018年3月期2Q	12,796,908株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2018年10月19日（金）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国において、中国からの輸入品に対する関税の引き上げが複数回行われるという波乱要素があったものの企業の景況感は良好で、設備投資も伸長しました。また、雇用環境の改善を受けて個人消費も堅調に推移しました。中国では、米国の関税引き上げによる輸出の落ち込みは限定的でしたが、インフラ投資の減速が続いており、自動車販売にも弱さが見られました。新興国・地域においては通貨安が進行しましたが、内需、外需ともに総じて堅調に推移しました。わが国経済は、自然災害の影響を受けてインバウンド需要が減速しましたが、企業の設備投資は増加傾向となり、個人消費にも回復の兆しが見られました。一方で米中貿易摩擦の激化や一部新興国通貨の大幅下落、国内における人手不足の深刻化など、当社を取り巻く環境は予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、更なる成長を目指すため、「Organic Growth」を今期の経営基本方針とし、グローバル競争の激化を始めとする環境の変化に迅速に対応することで企業価値の向上及び株主価値の最大化を目指してまいります。

当第2四半期連結累計期間の売上高は16,207百万円（前年同期比5.5%減）となり、営業利益は1,345百万円（前年同期比48.9%減）、経常利益は1,699百万円（前年同期比33.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,029百万円（前年同期比44.9%減）となりました。

各セグメントの概況は次のとおりであります。

#### 「エンプラ事業」

自動車用部品は、米国における乗用車販売が引き続き弱含んだものの、受注は底堅く推移しました。プリンター用部品は国内主要顧客への販売が堅調となる一方、非日系顧客への販売は落ち込みました。その他エンプラ製品は、良好な市況を受けて好調に推移しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,445百万円（前年同期比12.8%増）、セグメント営業利益は201百万円（前年同期比25.0%増）となりました。

#### 「半導体機器事業」

各種ICテスト用ソケット、バーンインソケットは、国内主要顧客において継続する生産調整の影響を受けるなど、力強さを欠きました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,992百万円（前年同期比3.1%減）、セグメント営業利益は534百万円（前年同期比48.2%減）となりました。

#### 「オプト事業」

光通信関連の光学デバイスは、データセンターサービス市場の拡大を受けて、高付加価値のハイエンド製品の販売が伸長しました。LED用拡散レンズは、液晶テレビ市況の悪化に加え、主要顧客におけるモデルチェンジの影響を受けて低調に推移しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,769百万円（前年同期比36.4%減）、セグメント営業利益は610百万円（前年同期比57.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は58,335百万円となり、前連結会計年度末比1,216百万円の増加となりました。流動資産につきましては377百万円増加しました。主な変動要因は受取手形及び売掛金で523百万円、現金及び預金で472百万円、仕掛品で99百万円増加し、その他で754百万円減少したことによるものです。固定資産につきましては838百万円増加しました。主な変動要因は投資その他の資産で1,087百万円増加し、無形固定資産で322百万円減少したことによるものです。

負債は4,850百万円となり、前連結会計年度末比で9百万円減少となりました。流動負債につきましては226百万円減少しました。主な変動要因は未払金で259百万円、買掛金で89百万円減少し、未払法人税等で109百万円増加したことによるものです。固定負債につきましては217百万円増加しました。主な変動要因はその他で208百万円増加したことによるものです。

純資産は53,484百万円となり、前連結会計年度末比1,225百万円の増加となりました。主な変動要因は為替換算調整勘定で666百万円、利益剰余金で469百万円増加したことによるものです。その結果、自己資本比率は91.1%となり、前連結会計年度末比で0.1ポイント増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年4月20日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	24,798	25,270
受取手形及び売掛金	6,835	7,359
有価証券	200	200
製品	915	953
仕掛品	548	648
原材料及び貯蔵品	1,510	1,508
その他	1,672	917
貸倒引当金	△10	△10
流動資産合計	36,470	36,848
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,191	3,156
機械装置及び運搬具（純額）	2,001	1,921
土地	6,783	6,798
その他（純額）	1,363	1,537
有形固定資産合計	13,339	13,413
無形固定資産		
ソフトウェア	367	402
のれん	1,919	1,689
その他	457	329
無形固定資産合計	2,744	2,421
投資その他の資産	4,564	5,651
固定資産合計	20,647	21,486
資産合計	57,118	58,335

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,271	1,181
未払金	936	676
未払法人税等	406	515
賞与引当金	554	561
役員賞与引当金	51	28
その他	798	828
流動負債合計	4,018	3,792
固定負債		
退職給付に係る負債	32	42
役員退職慰労引当金	15	—
訴訟損失引当金	469	484
その他	323	532
固定負債合計	841	1,058
負債合計	4,860	4,850
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,080	8,080
資本剰余金	7,569	7,569
利益剰余金	49,736	50,206
自己株式	△13,997	△13,997
株主資本合計	51,389	51,858
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	447	479
為替換算調整勘定	146	812
その他の包括利益累計額合計	594	1,292
新株予約権	165	218
非支配株主持分	109	115
純資産合計	52,258	53,484
負債純資産合計	57,118	58,335

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	17,143	16,207
売上原価	9,016	9,098
売上総利益	8,127	7,108
販売費及び一般管理費	5,490	5,762
営業利益	2,636	1,345
営業外収益		
受取利息	24	70
受取配当金	10	9
スクラップ売却益	27	11
為替差益	—	389
その他	40	30
営業外収益合計	102	510
営業外費用		
固定資産賃貸費用	8	11
持分法による投資損失	117	140
為替差損	63	—
その他	6	4
営業外費用合計	195	157
経常利益	2,543	1,699
特別利益		
固定資産売却益	3	5
特別利益合計	3	5
特別損失		
固定資産売却損	4	0
訴訟損失引当金繰入額	17	1
減損損失	—	71
特別損失合計	22	73
税金等調整前四半期純利益	2,524	1,631
法人税、住民税及び事業税	587	696
法人税等調整額	51	△119
法人税等合計	638	577
四半期純利益	1,886	1,054
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	24
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,868	1,029



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	1,886	1,054
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	71	32
為替換算調整勘定	256	674
退職給付に係る調整額	△20	—
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△5
その他の包括利益合計	308	701
四半期包括利益	2,195	1,755
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,176	1,728
非支配株主に係る四半期包括利益	18	27

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であったENPLAS LIFE TECH, INC. は同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っていましたが、第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更しております。

この決算期変更により、当第2四半期連結累計期間は、2018年4月1日から2018年9月30日までの6か月間を連結しております。

なお、当該連結子会社の2018年1月1日から2018年3月31日までの損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。